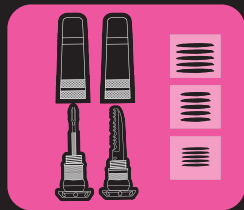


Muc-Off

DIRECTIONS FOR USE FOR FITTING

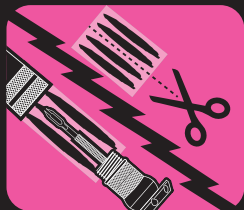
フィッティング方法



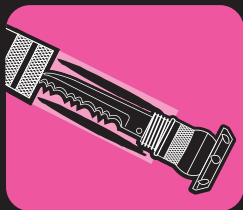
1. パッケージからすべての部品を取り出し、キャップを緩めます。



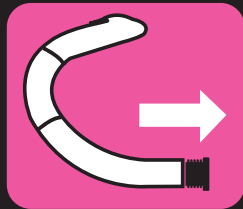
2. 一端をつまんで、ツールの端の隙間に通すことにより、バンクプラグツールを準備できます。これで、最速の修理の準備が整います。



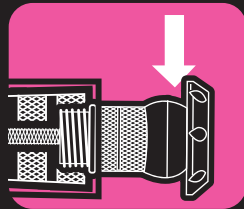
3. ラバーシットクシートを、移動中に保管するために必要な分位数にカットします。スベアとして、バンクプラグツールキャップ内部に3~4個の追加のラバーシットクを入れておきます。



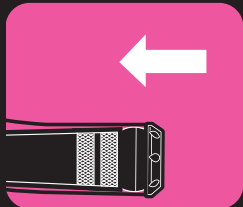
4. スベアとしてナイフサイドキャップ内部に2~3個の大きいまたは小さいラバーシットクを入れておきます。



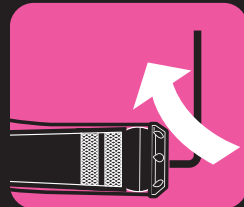
5. 現在使用しているバーエンドをハンドバーから取り外します。



6. 適切なシリカ製プラグを選択します。バーのサイズに応じて3つのサイズが用意されています。19mmがツールに取り付けられています。最初にバーの内径を確認し、必要に応じて小さい方の17mmまたは大きい方の21mmに交換します。ほとんどのMTBには17mmまたは19mmのサイズを使用、ほとんどのロード/グラベルドロップバーには21mmのサイズを使用します。



7. オーバーキャップがねじ込まれていることを確認してから、ツールをバーのどちらかの側に入れます。



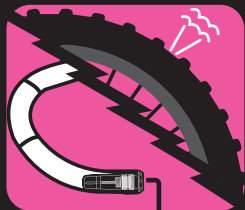
8. シリカ製プラグが拡張し、ツールがバー内に固定されていると感じるまで、4mm六角レンチで締めます。締めすぎないでください! (最大1Nm)。

NOW GO RIDE!

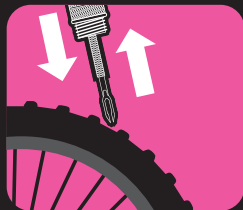


DIRECTIONS FOR USE IN CASE OF A PUNCTURE

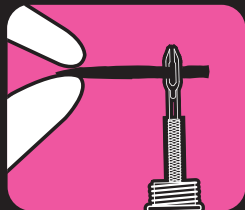
パンクした場合の使用方法



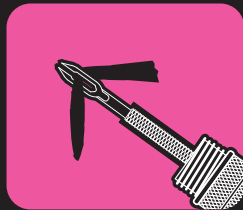
1.パンクの原因を特定し、破片またはパンクの原因を取り除きます。4mm六角レンチを使用してバーからツールを取り外します。



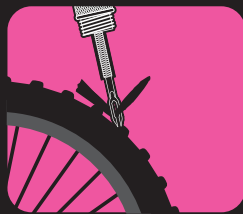
2.パンク部分に中型以上のラバースティックが必要な場合は、ツールのヤスリ目部分で穴を数回拡大させます。チューブレステープやタイヤの壁を傷つけないように、必ず45度の角度で使用し、タイヤの方向に従ってください。



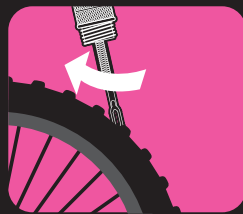
3.次に、ラバースティックを選択します。最大サイズはMTB、ミディアムサイズはグラベル、スモールサイズはロードタイヤ用ですが、サイズの穴に最適なものを使用します。次に、スティックの一方の端を指で強くつまんで平らにします。



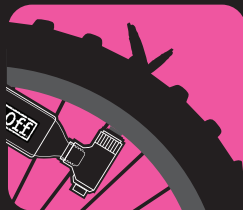
4.ツールの先端にある隙間を通して、スティックがツールの中央に配置されるようにします。



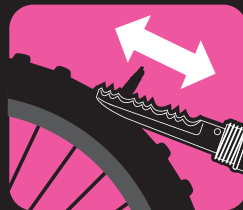
5.パンク穴を見つけて、スティックが半分くらいになるまで、ツールを穴に挿入します(45度の角度で、タイヤの方向に従って、チューブレステープやサイドウォールを損傷しないようにします)。スティックの端がタイヤの外側に残っていることを確認してください。



6.ツールを時計回りに数回転ゆくりと回してタイヤ内のスティックをねじり、ゆくりと引き上げて取り外します。スティックをタイヤに残し、穴を塞ぎます。



7.タイヤに空気を入れます。(ROADタイヤのパンクの際は最大80PSIをお勧めします)



8.最後に、ナイフを使用してスティックの端を慎重に切断します。自転車用のノンドライブサイド側に立ち、自転車から離れることをお勧めします。タイヤから3~5mm以上突き出ているように切断します。
※注意: 鋭利なナイフですので、注意して使用し、常に体から切り離し、指に近づきないようにしてください!

警告: 子供の手の届かないところに保管してください。ナイフは非常に鋭いエッジを持っているので、注意して使用してください。ロードタイヤの場合、特に高いPSIで使用する場合は、スティックで修理したタイヤを交換することを強くお勧めします。

NOW YOU'RE READY TO ROLL!

